

## 2021年3月度(第80期)中間仮決算ダイジェスト

## ■売上高

19,941百万円

売上高は、前期より698百万円減少し、19,941百万円(対前年同期比96.6%)となりました。要因としては、上期実質完成工事が1,986百万円減少したことがあげられます。繰越工事高は61,721百万円(同100.0%)となりました。

## ■営業利益

1,664百万円

## ■経常利益

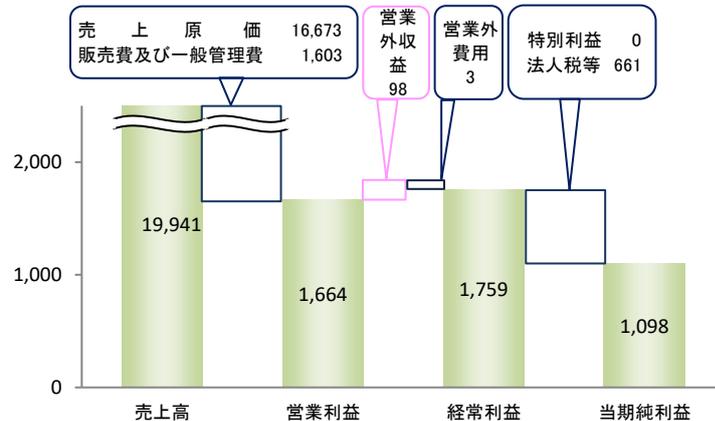
1,759百万円

## ■当期純利益

1,098百万円

損益計算書の概要

(単位:百万円)



利益は、工事原価率の上昇もあり、営業利益で1,664百万円(対前年同期比89.7%)、経常利益は、有価証券配当金等で1,759百万円(同91.1%)、当期純利益で1,098百万円(同85.1%)となりました。

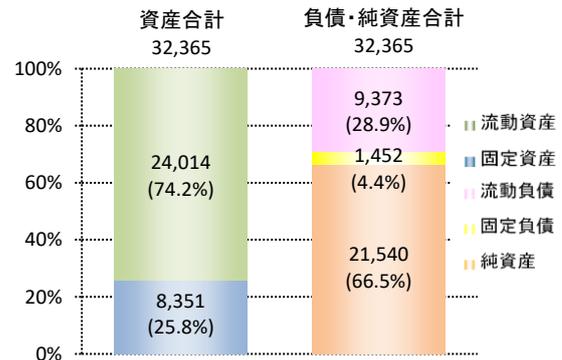
## ■自己資本比率

66.5%

自己資本比率は66.5%(前年末比5.5%増)となりました。総資産の残高は、32,365百万円(同1,492百万円減)で、主因としては、売掛債権の減少がありました。負債の残高は10,825百万円(同2,373百万円減)となりました。主因としては、仕入債務の減少がありました。純資産は、21,540百万円と前年末と比べ881百万円増加しました。

貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## ■キャッシュフロー

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、主に仕入債務の減少によって資金が減少となりました。  
「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に有価証券の取得により資金が減少となりました。  
「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、主に配当金の支払により資金が減少となりました。  
結果、前期末より1,908百万円資金が減少となりました。

現金及び同等物 第79期 期末残高	営業活動CF	投資活動CF	財務活動CF	現金及び同等物 第80期 3月期残高
11,660	▲ 751	▲ 856	▲ 299	9,752

(単位:百万円)

## ■通期予測

第80期本決算は手持工事量の状況により、前期期末と比べ売上高は、4,660百万円減少の39,131百万円となり、営業利益は2,199百万円、経常利益は2,366百万円、当期純利益は1,537百万円となる見込みです。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
39,131	2,199	2,366	1,537

(単位:百万円)